

福企告示第2号

福岡地区水道企業団水道用水供給事業の設置等に関する条例第8条の定めるところにより、令和元年度下半期（令和元年10月1日から令和2年3月31日まで）における当企業団水道用水供給事業の業務状況を次のように公表する。

令和2年5月31日

福岡地区水道企業団

企業長 中村 貴久

福岡地区水道企業団水道用水供給事業の  
業務状況（第94回公表）

目	次	
1	概況	1頁
2	事業報告書	2頁
3	損益計算書	5頁
4	貸借対照表	6頁
5	企業債及び一時借入金現在高	7頁

福岡地区水道企業団水道用水供給事業の  
業務状況（第94回公表）

目 次

1	概 況	_____	1頁
2	事業報告書	_____	2頁
3	損益計算書	_____	5頁
4	貸借対照表	_____	6頁
5	企業債及び一時借入金現在高	_____	7頁

## 1 概 況

令和元年度下半期の総供給水量は、43,241,880立方メートル（一日平均236,294立方メートル）で、前年度同期に比べて、484,410立方メートル（一日平均3,960立方メートル）、率にして1.11パーセントの減少となっております。

五ヶ山ダムについては、供用開始に向けての試験湛水が行われておりましたが、少雨により完了しなかったため、現在も試験湛水が行われております。

また、筑後川の流況の安定化に向けて、小石原川ダムの早期供用開始や筑後川水系ダム群連携事業の事業計画の早期策定について、関係者とともに要望活動を行いました。引き続き、事業促進に尽力してまいります。

既存施設の改良更新については、牛頸浄水場の設備更新など浄水施設の整備を行い、管路の耐震化については、警固断層対策などの事業を推進しました。

今後は、供用開始後30年を経過しております福岡導水施設や、当企業団施設の改良更新、耐震化等による費用の増加が見込まれることから、引き続き、計画的・効率的な事業実施に努めてまいります。

## 2 事業報告書

### (1) 水道用水供給事業

下半期総供給水量

用 水 供 給 先	供給水量 (単位：m <sup>3</sup> )		対前年度比較	
	元年度下半期	30年度下半期	増減	比率(%)
福 岡 市	24,275,350	24,200,450	74,900	100.3
大 野 城 市	2,691,195	2,676,560	14,635	100.5
筑 紫 野 市	2,042,500	2,130,074	△ 87,574	95.9
太 宰 府 市	1,903,525	1,893,140	10,385	100.5
春日那珂川水道企業団	2,459,550	2,628,130	△ 168,580	93.6
古 賀 市	1,223,070	1,216,400	6,670	100.5
宇 美 町	978,775	1,236,110	△ 257,335	79.2
志 免 町	1,116,300	1,049,975	66,325	106.3
須 恵 町	714,015	799,566	△ 85,551	89.3
粕 屋 町	1,312,880	1,306,115	6,765	100.5
篠 栗 町	758,250	754,120	4,130	100.5
新 宮 町	854,930	940,010	△ 85,080	90.9
宗像地区事務組合	415,410	413,140	2,270	100.5
糸 島 市	2,496,130	2,482,500	13,630	100.5
合 計	43,241,880	43,726,290	△ 484,410	98.9

## (2) 水道用水供給事業会計予算の執行状況(令和元年10月1日から令和2年3月31日)

## ① 収益的収入及び支出

## 収入

(単位：百万円)

区 分	予 算 額			執 行 済 額
	当初予算額	補正予算額	合計 【最終予算額】	
(1) 水道用水供給事業収益	12,714	△ 188	12,526	6,204
1 営業収益	11,371	△ 140	11,231	5,512
2 営業外収益	1,298	△ 48	1,250	647
3 特別利益	45	0	45	45

## 支出

(単位：百万円)

区 分	予 算 額				執 行 済 額
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	合計 【最終予算額】	
(1) 水道用水供給事業費用	11,354	△ 234	0	11,120	6,155
1 営業費用	10,781	△ 276	△ 75	10,430	5,770
2 営業外費用	476	42	75	593	378
3 特別損失	92	0	0	92	7
4 予備費	5	0	0	5	0

② 資本的収入及び支出

収入

(単位：百万円)

区 分	予 算 額					執 行 済 額
	当初予算額	補正予算額	小計	前年度繰越額	合計 【最終予算額】	
(1) 資本的収入	1,493	△ 123	1,370	0	1,370	915
1 国庫補助金	528	△ 123	405	0	405	405
2 出 資 金	938	0	938	0	938	501
3 その他の資本的収入	27	0	27	0	27	9

支出

(単位：百万円)

区 分	予 算 額					執 行 済 額
	当初予算額	補正予算額	小計	前年度繰越額	合計 【最終予算額】	
(1) 資本的支出	8,199	△ 767	7,432	147	7,579	4,786
1 設 備 費	3,746	△ 787	2,959	147	3,106	2,675
2 国営事業等負担金	466	0	466	0	466	295
3 償 還 金	3,955	0	3,955	0	3,955	1,778
4 国庫補助金返還金	27	0	27	0	27	27
5 建 設 利 息	0	20	20	0	20	11
6 予 備 費	5	0	5	0	5	0

### 3 損益計算書(令和元年10月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：百万円)

費用の部	金額	収益の部	金額
1 営業費用	5,533	1 営業収益	5,011
2 営業外費用	192	2 営業外収益	645
3 特別損失	71	3 特別利益	44
4 当期純利益	△ 96		
費用及び当期純利益 合計	5,700	収益 合計	5,700

#### 4 貸借対照表(令和2年3月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部	金額	負債・資本の部	金額
1 固定資産	140,679	1 固定負債	15,591
(1)有形固定資産	93,787	(1)企業債	11,466
(2)無形固定資産	46,892	(2)国営事業等償還金	4,092
		(3)リース債務	33
2 流動資産	11,915	2 流動負債	6,785
(1)現金預金	10,580	(1)企業債	2,088
(2)未収金	1,329	(2)国営事業等償還金	1,758
(3)保管有価証券	5	(3)リース債務	15
(4)前払費用	1	(4)未払金	2,845
		(5)預り金	26
		(6)引当金	53
		3 繰延収益	30,896
		(1)長期前受金	23,913
		(2)建設仮勘定長期前受金	6,983
		4 資本金	93,222
		(1)資本金	93,222
		5 剰余金	6,100
		(1)資本剰余金	2,565
		(2)利益剰余金	3,535
資産合計	152,594	負債・資本合計	152,594



## 5 企業債及び一時借入金現在高

### (1) 企業債の現在高(令和2年3月31日現在)

(単位：百万円)

令和元年9月末現在高	後期借入高	後期償還高	令和元年度末未償還残高
14,616	0	1,061	13,555

### (2) 一時借入金の現在高(令和2年3月31日現在)

なし